たより「あしたば」

第9号発行
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

〒239-0826
横須賀市長瀬3-3-1
☎046-874-5901
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

卒業・入学お祝い会

新年度が始まりました。皆様方に支えられてしらかば子どもの家も8年目を迎えることが出来ました。昨年度も、子どもの家では一人の立派な卒園生を送り出すことが出来ました。また、新天地で緊張しながらも頑張っている小・中・高校生もいます。家ではできないそぶりを見せている子も、学校やアルバイト先では頑張っていると伝え聞き、ビックリすると同時に成長を嬉しく感じます。

しらかば子どもの家　施設長　仲嶋久義

この春、しらかば子どもの家（児童養護施設）からは１名の子どもを「就職」卒園として送り出すことができました。社会に出る不安もあってか就職先を決断するのに少し足踏みしましたが、自らの判断で無事決めることができました。関係者の方々はもちろんのこと後援会の皆様の厚いサポートを得ての船出となりました。

しかしながら現実はと言えば、社会に出てからの大変さはこれからです。順風満帆にとはいかないことは承知のうえでの皆様からのご支援を引き続きお願いしたいと思います。また、送り出す立場としては、いつでも困った時には頼れる場所として控えつつ、「しらかば」出身のみんなが少しでも伸びやかに社会で貢献できるようにと応援していきたいと思います。

4月には小学生二人、中学生一人、高校生二人が新しい学校に入学しました。さらに、高校入学に合わせて4月に入所となった男子も受け入れております。もう2カ月が過ぎ、みんな新しい学校や生活にもなじんできており、充実した生活を楽しめている様子なのが何よりです。

さて、在園の子どもたちの陰に隠れてしまった感がありますが、以前の就職卒園者でこの4月に専門学校で学び出したOB君がいます。働いてはみたもののいろいろと考えた末、自身もお世話になった業界で、今度は支援者の立場で働きたいとの思いに至り、進路変更となったようです。

新卒進学とは異なり、進学支援の手立てにも限界がありますから、働いていた頃の自身の貯えや日々のバイト代もしっかりと計算しながらの学業と生活を余儀なくされています。彼の気持ちも評価しながら、応援していきたいのですが、是非無理し過ぎずに取り組んでもらいたいものです。

今回お祝いの対象になったメンバーです。卒園1名、高校入学2名、中学校入学1名、小学校入学2名新しい制服に身を包まれ少し緊張している様子も見受けられます。毎日楽しそうに登校する様子を見て、嬉しく感じます。

益子後援会長より記念品をいただきました。

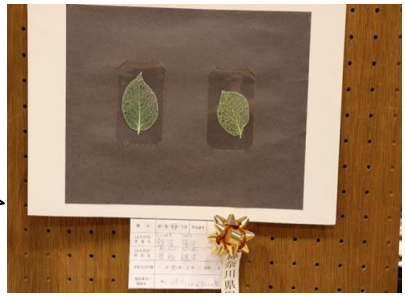
卒園生の立派なスピーチに社会人となってからの期待が膨らみます。

日頃よりお世話になっています、関係各所の皆様からも、お祝いをしていただきました。

会の終了後、来賓、職員、子どもたちとともに、昼食を立食形式でとり、楽しいひと時を過ごしました。

しらかば　歳時記

私たちが気付かなかった才能を開花させた子もいます。昨年度のあすなろ交歓会で当時中学3年生の子が『神奈川県社会福祉協議会会長賞』をいただき表彰されました。
普段は本を読んだりゲームをしたりするのが好きで、学習はあまり得意ではない彼ですが、素晴らしい感性の持ち主でした。強みを伸ばしていってあげられる支援を続けていきたいと思います。



葉の葉脈標本です。作り方はここでは秘密だそうです。知りたい方は本人に聞いてみてください。喜んで教えてくれると思いますよ。

誕生日会
それぞれが希望した絵をケーキに書いてもらうことが出来ます。どんな絵にするか、子ども達の楽しみの一つになっています。

あかね寮バレンタインの様子。
真心こめてチョコレートを作っています。

久里浜小運動会での一場面。
応援団に選ばれたからと、率先して練習していました。
当日は素晴らしい演技を披露してくれました。

例年に引き続き様々な方からのご招待、ご支援を賜りました。ここで紹介できるのは一部にすぎません。
本当でしたらこの場ですべてを紹介したいところですが、都合上割愛させていただきます。
イベントは子ども達がとても楽しみにしています。
どうぞこれからもしらかば子どもの家を宜しくお願いいたします。

（北浜寿司さん）

（にぎり一丁さん）

新鮮なお寿司を食べられる行事はアルバイトを休んでまで参加する子もいます。
普段なまものを施設で提供できない為、子ども達も首を長くして待っています。

久里浜自衛隊駐屯地の運動会

地域の方々と一緒に競技に参加させていただきました。
同学年の仲良しペアでパン食い競走後の様子。

米軍招待行事
普段は見られない、米軍基地に入ることの出来る貴重な体験です。
アメリカサイズの食べ物にビックリさせられます。
他にもイースターやクリスマスなどの行事で施設まで出向いて、本場のイベントを体験させていただけます。

ベビーホーム日記

こども園・幼稚園入園式

4月上旬に、しらかばこども園、久里浜幼稚園で、進級、入園式に参加しました。新たに幼稚園に通うようになったお友だち。真新しい幼稚園の制服に身を包むと、より一層お兄さん、お姉さんに見えました。まだまだ小さく、可愛いと思っていた子どもたちですが、すっかりたくまくなり、成長した姿を見せてくれました。

みんなの成長が嬉しい反面、「自分でやる!」と言うことが増えているので、もっと甘えて欲しいと寂しさを感じることもあります。これからも、どんな成長を見せてくれるのか、楽しみにしています。

4月下旬、いちご狩りに行きました。昨年までは、施設から車に乗って現地まで行っていましたが、今年はバスと電車を使い、津久井浜でいちご狩りをして来ました。乗り物大好きな子どもたちは、とても嬉しそうで、おしゃべりも絶えませんでした。

甘いもの大好きな子ども達、練乳も2回、3回とお替りしていました。帰る時間になった事を伝えると、「あと2個だけ…」と言うなど、帰りがたい様子を見せる子もいました。いちごが苦手な子もいましたが、沢山のいちごを見て、触って、とても良い経験になったのではないでしょうか…。

まだいちごを食べたことがない、小さいお友だちはお留守番となりましたが、大きくなったらたくさん食べられるようになるといいです❤

今、子どもたちの間では人形を赤ちゃんに見立てて、ミルクを飲ませる真似をしたり、人形をおんぶしたり、養育者のことをよく見ていてまねをしています。月齢の低い子には絵本を読んであげたりしています。物事や人との関わりの中でたくさんの喜びや楽しみ、驚き、発見、悲しさや怒りを体験して、その積み重ねが経験として残っていきます。

様々なことに出会い、一つずつ丁寧にこなしていく中で、人のやさしさや温かさを知って自分も相手に対しての関わり方を考えて子どもも過ごしています。日々の何気ない砂遊びや鬼ごっこ、お絵描きなどからも成長するための「学び」がたくさん散りばめられています。「ちょっとしたこと」と大人は思って見過ごしてしまいがちですが、子どもにとっては“学びそのもの”なのです。子どもの世界に少しでも共感できるように、私たち大人は一緒になって遊んで関わり、そして成長していかなければ、と思います。

だいこん掘り

こども園の畑に行き、だいこん掘りをしました。成長だいこんを見るのも初めてで、触るのも怖がっていた子どもも、年上の子どもたちが掘っているのをみたりしているうちに、だんだん慣れていき、一緒に掘ることを楽しんでいました。

土の中に大きな大根が植わっていることにもびっくりしていました。

ベ ビ ー ホ ー ム 日 記

ひなまつり。女の子の健やかな成長や幸せを願う日。しらかばベビーホームでも女の子たちにいつまでも元気で幸せになってほしいという願いを込めて雛人形を飾りました。子どもたちも「もうすぐひなまつりだね」と、その日が来るのを楽しみにしていました。ひなまつり当日は、皆で手作りのお雛さまを完成させたりとひな祭りの会を楽しみました。また、おとそに見立ててカルピスを女の子たちに注いでもらい、皆で頂きました。ひなあられやひなまつりのごちそうもたくさん食べて楽しい思い出がまた1つ増えました。

こんなにかわいいごちそうができました～♪

「食」に関するイベントをいくつか紹介します。❤

みんなでごはん

2ヵ月に1度、栄養士さんや事務の職員さん、看護師さん達と、みんなで一緒に昼食を食べる機会を設けています。1つのお部屋で、みんなで食べる食事はとても賑やかで、子どもたちもいつもと違う雰囲気にとても楽しそうです❤

きなこクラスとあんこクラスとの交流の場ともなっており、おしゃべりしたり、月齢の低いお友だちに優しく話し掛けてくれたりしています。みんなで楽しく食べると、食もより進みます!!

おいしいご飯もみんな楽しみにしており、「今日のご飯は何～?」は、定番の質問となっています。

❀ お食い初め

この日はMさんのお食い初め。Mさんが一生食べ物に困らないようにとみんなで願いました。Sくんのお食い初めもありました。

❀ バレンタイン チョコチップクッキー作り

クッキー生地をこねこねして、形を作ってチョコチップをのせます。Sさんの作ったクッキーはにょろにょろへびさんのような形に仕上がりました。焼きあがったクッキーは、いつも直接「ありがとう」を言う機会の少ない事務職員さんを中心に感謝の気持ちを込めて渡しました。もちろん、子どもたちもいただきました。バンダナとエプロン姿がかわいいですね♪

❀ お誕生日

お誕生日の日の夕食は年に一度、子どもたちが自分で食べたいものをリクエストできる日です。Rくんのリクエストはオムライス。Hくんはラーメン。大好きなメニュー、とってもよく食べました。♪

しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会総会報告

平成３０年５月２６日（土）に横須賀商工会議所３階研修室において、第７回総会が開催されすべての議案が承認されました。

益子　健一　後援会長挨拶

日頃より会員の皆様には、当後援会の活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この春に一人が卒園して、これまでの卒園者が２名になりました。就職するということで出ていきましたが、その後の経過はなかなか厳しい状況のようです。

高校３年生の女の子で勉学に熱心な子が大学進学を希望しており、何とか大学に進めるよう支援したいと思います。小学生につきましては、学業面で公的な支援が十分に受けられない部分は後援会の支援で学習塾に通っています。少しでも基本的な学力が向上してほしいとの思いで支援しています。小学校入学、中学高校への進学について、鉛筆、ボールペンなどの記念品を贈って、３月末にお祝いをしたばかりです。少ない資金ですができる限りの応援をしているのが現状です。

しかしながら、卒園した子供たちが世間に放り出され、その後の支援は心を痛めておりますが、できていないのが実態です。卒園支援金１０万円を贈呈し、頑張れよというところで終わっています。

子供たちのために少しでも精神的な支援も含めて、さらに後援会活動を充実させたいと思っています。お金だけの支援だけではなく子育てを終えたようなお母さん方の支援グループを作って少しでも子供たちと接したり、勉強を見ていただくようなことも何かやっていきたい。そのようなことを後援会の活動の中で皆様と決めていきたいと思います。

本年も会社、団体で約６０団体、個人約９０人の方々にご支援をいただいております。このところ、会社法人団体が減ってきていますが、個人の方の加入が増えてきているので助かっています。

新年度は会員募集について、皆様方にもぜひ一人でも二人でも増やしていただければ大変ありがたいと思っています。

平成29年度に会費(寄付金)をいただいた皆様(順不同、敬称略)

(株)三春商会、三春ガス住設サービス(株)、(株)佐藤船舶工業、(有)朋友自動車商会、(有)大津相模屋、(有)渡辺設計、日洋物産(株)、(株)新都市警備、(株)昭和、(株)井出運輸商事、(株)井出石油、(株)小川建築事務所、(有)湘南安全硝子、(株)新都市企画、東京ガスライフバル飯田(株)、(有)牡鹿電設、(株)リオ・エステート青山、湘南ダイハツ(株)、(有)栄モーター商会、(株)チャイルド社、(有)按針、(有)ワカフジベーカリー、(有)日の出ブロック商会、(株)鶴若防災、美豊ホンダ販売(株)、匠建設(株)、(株)太八商事、(有)こいけ、湘南製餡(株)、(有)One up、(株)むらやま、(株)エイヴィ、(株)城水、(株)横須賀魚市場、(社福)清光会、かながわ信金、(株)不二環境サービス、セブンイレブン佐原5丁目店、木村社会保険労務事務所、(株)大神設備工業、一富水産(株)、(株)ヴィクトリーアイ、(有)原保険事務所、(社福)誠心会しらかばこども園、(有)タカ建築設計、(株)秋山建設、三浦半島ガス協同組合、弁護士法人権田総合法律事務所、日本水産観光(株)、(株)ファミリー電気商会、奥継建設工業(株)、16ミリ試写室、ウスイホーム(株)、関矢産業(株)横須賀ドライビングスクール、湘南信金、(株)エビヤ、(有)森定商店、(有)桜井商店、(有)アクア自動車、成竹会

今江恭子、畠山貴子、本田伸也、藤田さわ子、古城文子、石井新一、神保武夫、陰山義晴、仲川孝義、鈴木智津子、長瀬滋雄、島野路美、菅原英明、安田良子、小沢和子、濵田睦子、西村昇、髙橋國敏、弓削元、弓削力、樋口達、弓削仁、川辺務、原田博行、村山幸壽、遠藤眞理、長塚淑江、青山七代、志村理代子、清水雅子、名生典子、川島好子、長田百合子、嵯峨山みな子、長谷川祥子、根本哲、柳尚美、柳裕一郎、石黒和氣子、熊澤夏子、石渡卓、岩﨑聖秀、森恵理子、永井真人、浜田律子、飯島稔久、三輪和彦、山田昌彦、川村利光、櫻井芳子、中川潤一、吉田美智江、篭崎哲郎、海川和秀、藤掛一子、向瀬勝秀、仲川知秀、晴山羚治、常松瑤子、大内秀子、関澤潤子、筒井幸子、田村慶子、藤田恵梨子、横須賀紘子、西堀俊雄、スドウカズヒコ、鈴木宏之、藤信義、髙橋勝彦、細田礼子、工藤昭四郎、今澤織子、石橋幸夫、有賀みゆき、山本剛、今西理、安田貴美、小林妥子、浅野サチ子、塚田ひろ子、木村良介、竹永宏、竹永京子、花房玲子、ヨシダエイイチ、遠藤みなみ、サカイエミコ、山田紀子、岩本政子、池田尚代、星宏輝

講話　里親制度について

横須賀市児童相談所副所長　小林　幸恵　様

横須賀市児童相談所
馬渕係長、 小林副所長

現在、横須賀市内には２７組の里親がいて、管外を含め１５組に子供が委託されています。全国の児童相談所の中でも未委託の里親が最も少ない数になっており、里親には空きがないほど委託をお願いしている状況です。

里親という制度は、様々な事情により家庭で生活できなくなった子供のために、信頼と愛情に満ちた家庭を保証する公的な制度です。

主に里親とは養育里親のことで、子どもの性別や年齢にこだわらず子供の福祉を優先する立場で育てていただく家庭のことを言います。養育期間は長期、短期、緊急短期などさまざまです。施設の子供たちを週末の一日二日ぐらいを家庭に引き取るのではなく週末だけ決まった子を家庭体験させる里親さんもいます。これらを養育里親といいます。

親族里親は、両親が亡くなったりした場合に子供をその親族の子として見てもらうという制度です。これは、東日本大震災の時に両親を亡くした子が親族に引き取られる際、親族のほうもその子を見ていく経済的な保障を何らかの公的な保障をということで、改めて制度改正されたものです。

専門里親というのは、非行や重い障害、虐待などの事例に特化して二年間という期間を決めて更新をしながら国の研修を受けていただき継続していただく里親にです。横須賀市内には現在一組の里親がいます。

養子縁組里親は特別養子縁組をしたい、特別養子縁組とは現家族との縁を切り、戻らないという、家庭裁判所の審判を通じて完全に戸籍上わが子にしてしまうという制度です。現在横須賀市内に４組います。

小さいときに育てられない、家庭に戻さないことが明確にわかっていれば裁判所の審判によって生まれた親との縁を切って養子縁組里親に委託し、そのまま親子関係を維持していただく制度になっています。

この数年で９組ほど養子縁組していったお子さんがいます。

ファミリーホームは２か所あり、６人までの子供を一つの家庭の中で見てもらっています。

ボランティアファミリーは、主には施設にいる子を週末だけ引き取って一緒に家庭で生活していただくといったものです。こういった方は現在横須賀には１２家庭います。

里親になる資格は特にありません。健康で明るい家庭で子供たちに愛情を教えてもらえる方であれば資格がある事になります。申請内容や家庭調査はあります。

支給される費用は、養育費として里親の種類や子供の年齢に応じて里親手当、生活費、学校教育費、子供の医療費などは公費で支給されます。

里親には家庭で見るという難しさがあり、様々な里親の悩みを打ち明けたり支援しあったりする里親会という団体があります。

里親になるための相談を受けた後、基礎研修、認定前研修をしてもらいます。その後調査行って、児童福祉審議会に児童相談所から諮り、ここで認定されて里親登録となります。その後研修があり、施設などで実際に子供の生活の場面に入って実習をし、委託となります。研修や実習を含めて３か月から半年かけて里親になる制度です。

横須賀市の児童相談所は年間約１０００件の子どもに関する相談を受けています。虐待相談については昨年６１１件の相談にのぼりました。１０００件の相談のうち児童養護施設や里親に委託される子供というのは、年間７～８名で１０００件のうちほんとに絞られた子供たちになります。

１０名弱の子供たちというのは家庭から離れなければいけなかった大きな事情を抱えて分離されます。一度は家庭に返していきたいと思いますが、そこは大変難しい現状となっています。

施設や里親制度についてご理解をくださり、子供たちへの支援を今後も継続していただき、また何かありましたら児童相談所にもご意見やご指導をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

編集後記

子どもの家では『家庭らしく』をキーワードに日々支援を行っております。開所当時から課題となっていた、お弁当を当日に作って更に個々のお弁当箱に詰めて渡すことも、栄養士、調理師の努力の末実現させることができました。ありがとうございます。フロアでも季節折々の行事を提供できるよう努力をしております。今年度広報を担当させていただきます、しらかば子どもの家くすのき寮担当の内木雄太です。一年間宜しくお願いいたします。

ベビーホームの子どもたちも元気いっぱいに過ごしています。４月から進級、入園した子もおり、新しい環境に少し緊張した様子も見られますが、こども園や幼稚園での出来事を笑顔で話してくれ、「楽しかった!」という言葉も聞かれます♪でもやはり疲れは溜まるのか…夜、眠るのが早くなったような様子もあります。